

むくのきだより 3月号



令和8年3月2日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子



異年齢の関わり 子供の成長

園長 中村 美奈子

「これから3月のお誕生会を始めます！」今月から年少さくら組の子供たちが司会となって誕生会を進めています。2月の誕生会では、年長ゆり組の子供たちが言葉やお辞儀の仕方を教え、一緒に司会をしました。終わった後に、「もう大丈夫。さくら組さんは、できるよ。」と年長ゆり組の子供たちに背中を押されて臨んだ3月の司会。緊張した様子ですが、少し誇らしげです。

幼稚園では、年長ゆり組と年少さくら組との関わりを大切にした教育を進めてきました。遊戯室や園庭では、自然と一緒に遊べるような場を設定したり、ペアやグループで行事をしたり、2学級の園のよさを生かして取り組んでいます。日々の当番活動も、1月から少しずつ一緒に行ってきました。当番活動には、朝の出欠の報告、もるくん(モルモット)やりこくん(カメ)などの生き物のお世話、園庭の掃除や水やりなどがあります。年長ゆり組の子供たちは、やり方を見せながら丁寧に優しく教えていました。大きなカメを触るのが怖かった年少さくら組の子供たちも、だんだん慣れていきました。お姉さん・お兄さんだけがしていたことをやれることになり嬉しい様子です。幼稚園教育要領解説に「幼児が、日常の家庭や地域社会の生活とは立場が変わり相手の役に立つことをする経験も大切である。幼児は、「〇〇してあげる」という言葉を好んで使い、何かを手伝いたがる。そして、相手に喜ばれ、よくやってくれたと感謝されることによって、幼児は自分が有用な人間であることを自覚し、もっと人の役に立ついろいろなことができるようになるだろうと思うようになっていく。」とあります。年長ゆり組の子供たちも教えることで自分ができるようになったことを自覚し、役に立っていることを喜び、自信をつけた様子です。幼稚園での異年齢の関わりが、子供たちの成長につながっていると感じます。

今年の4月から3歳ひまわり組、4歳さくら組、5歳ゆり組の3年保育がスタートします。異年齢の関わりが子供たちのよりよい成長につながるよう、環境の整備や活動の工夫をしていきます。また、次の取組も始まります。

○昼食支援の拡充(港区立幼稚園 全園)

これまでは希望する保護者が自己負担で配送弁当を注文していましたが、保護者の経済的負担を軽減し、子育ての支援を推進するため、区立幼稚園の全幼児を対象に無償の弁当給食を実施します。アレルギーなどで弁当給食を利用できない家庭には、負担軽減のための補助金を交付します。

○預かり保育の拡充(赤羽幼稚園を含む6園)

平日朝の預かり保育(午前8時～9時)を開始するとともに、降園後の預かり保育の時間をこれまでより1時間遅く、午後6時まで延長します。長期休業中の預かり保育について、時間を延長(午前8時～午後6時)します。

今年度も保護者や地域の皆様には、本園の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。心より感謝を申し上げます。

